



祖父の話

校長 田村 稔

私にとっての祖父は、寡黙で優しいおじいちゃんというイメージの人でした。夏休みなどを利用して遊びに行くと、田んぼにいたキリギリスやカマキリなどを虫かごいっぱいに入れてきてくれたこと。ガタゴトと祖父の運転する耕耘機に揺られ、1 kmほど離れた最寄りの店に連れていってもらったこと。祖母に頼まれて、まだ幼い私が酒好きな祖父に「おじいちゃん、お酒を飲み過ぎちゃダメよ」などと言ったこと。それに対し、祖父はにこにこして「ははは。稔ちゃん、分かったよ」と優しく答え、持っていた猪口をそっとテーブルに置いたこと（その後またすぐに飲みました）などを思い出します。

しかし、先日ひよんなことから、その祖父が若い頃に兎肉の缶詰作りに携わっていたことを知りました。戦前、軍用に毛皮を供出するため「軍用兎」として国策により飼育が奨励されていた頃です。兎肉の缶詰はそれに伴う肉の有効利用だったのでしょう。1930年代、折しも三陸地震、東北冷害、室戸台風、西日本干害などが重なった食糧難の時期でしたので、保存食である缶詰は重宝されていたと思われます。

祖父は農学校卒業後に豚肉加工講習を受け、地域の兎肉缶詰製造に製造主任として携わります。祖父がその経験をまとめ報告した論文には「農民ノ保健ノ一助タラシメントス」「農業ニ対スル興味ト勤労ノ美風ヲ要請シ」と記されていました。読みながら、この兎肉缶詰作りが農業振興と農民自身の健康維持に大切で、どれだけ期待された作業であったかと思いをめぐらせました。

その後、祖父は4回にわたり朝鮮と石垣島に応召され、健康を崩します。兵卒として働いていたときの話は祖母を通じて聞いたことがありました。捕虜に対して優しく接していたことから、捕虜の証言により戦後軍事裁判にかけられることがなかったということでしたが、今となってはそれが事実なのか確かめる術はありません。

寡黙だった祖父はこれらのことを私に直接話すことはありませんでした。祖父からその当時の考えや気持ちを聞きたかったという思いは強くなるばかりです。

当校では子どもたちがp4cによる対話で考えを深める機会がたくさんあります。これによって、知識や技能、思考力だけではなく、対話の相手の思いや生き方に気付き、自分の生き方の指針も得られるのだらうと思います。私は様々な立場の、多くの方々と関わり合う教育こそがゆたかな教育であると考えています。そして、それは学校だけで行うものではないと思います。特に親や祖父母といった身近な人と、仕事や生活のこと、それに対する思い、家族やその他の大切にしていることなどについて対話することは、身近であるが故に却って子どもにとってとても貴重で大切なもの、成長の糧になるものだと思います。年末年始、家族や親戚が集まったの団らんの折などに語り合ってみるのもいいのではないのでしょうか。

(参考文献) 『祖父の缶詰作りと戦争』田村 巧 (デーリー東北新聞社 2017)

『昭和拾参年度刈羽郡南鯖石村経済更正計画書』佐藤 伝 (昭和13年) ほか

(丸底フラスコをお湯につけると、スポンジの栓がポンッと飛び出す理由は) お湯にずっとつけていると、そのうちにだんだんとフラスコの中が熱くなるから、栓が「あちち」ってなって、飛び出すんだと思います。

3・4年生が理科で p 4 c をしていたときの、あるお子さんの発言です。大人なら「そんなばかな」と一笑に付してしまうところですが、本人は至って大まじめです。いや、もしかしたら本人でさえも「まさかなあ」って思っていたのかもしれませんが。でも、それを頭の中で打ち消さず、あるいはどうしても打ち消すことができず「もしかしたらこのとおりかもしれない」と敢えて発言してみたのかもしれませんが。そして、周りの子たちは「ふんふん、なるほど。そういうこともあるかもしれないね」と受け止めているのです。以前ならこのような発言は公の場でなされることはなかったのではないかと思います。それを安心して発言することができる友だちへの信頼感と他者を尊重する支持的な雰囲気。「私が一生懸命考えた上での発言なら、それを否定したり、馬鹿にしたりする友だちはいない」という仲間に寄せる信頼。自分のありのままを受け止めてもらえるという気持ち、自分の本当の思いが表出される対話につながるのでしょう。互いに自己開示しながら進められる p 4 c は、子どもの心の底からわき上がる疑問や思いに寄り添い、大きな学びにつながるのだらうと思います。(冒頭の発言は、学習を進めていく中で自然と打ち消され、真実に到達していきました。)

p 4 c で特に大切にされるのは、「子どもの知りたい」「探究したい」という素直な気持ちからくる問い(ワンダー)と、どんな発言でも受け止めてもらえるという信頼(セーフティ)の2つです。そして、この2つが学習指導だけでなく生徒指導でも、p 4 c が大きな力を発揮すると期待される所以なのです。

1月の予定

1	日	元日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	3学期始業式、心の健康チェック (~16日)、全校下校 10:10
11	水	3学期給食開始、身体測定、業辞鑑別 開始(毎週水・金曜日)、フッ化物洗口
12	木	るるぶ週間(18日まで)、 全校下校 14:25
13	金	ALTによる指導
14	土	
15	日	
16	月	校内書き初め展(20日まで)

2月の主な予定

- 1日(水)新1年生体験入学会・保護者説明会
- 2日(木)避難訓練、委員会活動
- 3日(金)児童朝会、中学校体験入学・入学説明会、
ALTによる指導
- 9日(木)学習参観、学年懇談会
- 10日(金)ALTによる指導

17	火	集金日
18	水	NRT学力検査(1日目)、フッ化物 洗口、ノーテレビ・ノーゲームの日
19	木	NRT学力検査(2日目)、 委員会活動
20	金	児童朝会、ALTによる指導
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	ふれあいタイム
25	水	スクールカウンセラー来校、フッ 化物洗口、PTA総務会
26	木	全校下校 14:25
27	金	ALTによる指導
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	全校 p 4 c

赤泊小学校HPをどうぞ御覧ください。



- 14日(火)集金日、学校運営協議会
- 16日(木)委員会活動
- 17日(金)音楽朝会、ALTによる指導
- 23日(木・祝)天皇誕生日、PTA奉仕作業
- 24日(金)ALTによる指導、マーチングバンド引継式、
6年生を送る会、PTA総会

